



SSH 通信

今年度最後の SSH 通信となります。SSH 初年度として様々な活動を行ってきましたが、今回はその集大成となる SSH 研究成果発表会を中心にお知らせをします。また、科学部が「つくば Science Edge」に参加し、「東京大学海洋研究所での実習研修」も体験しましたので紹介したいと思います。

SSH 研究成果発表会

2月27日(火)天草市民センターで、第1回SSH研究成果発表会を行いました。この発表会は、今年度の研究成果報告と生徒の口頭発表(AS Iの代表7班と科学部1班)、ポスター発表(AS Iと科学部の全ての発表)を実施するといったものです。AS Iの口頭発表内容は前回のSSH通信No.7「プレゼンテーション分野別予選会」の記事(ホームページ内に掲載中)を参照してください。

発表では、身振り手振りを交えながら伝えようとする姿や英語の口頭発表に挑戦する姿、発表内容を忘れた際に助けあう姿が見られました。また、質疑応答では、運営指導委員(熊本大学、崇城大学、鹿児島大学、長崎大学、DENSO、熊本県立教育センター等)の方々や2年生から質問が相次ぎ、発表者も自分たちの研究を振り返りながら応答していました。全体に研究発表の風土が広がっていったように感じられる一日となりました。

口頭発表は相互評価表、ポスター発表は「いいねシール」を用いて、来場者や2年生に各発表を採点していただきました。その結果は以下の通りです。

口頭発表部門

- 1位 天草を売り込み隊
- 2位 天草で作られるものを利用し石鹸を作る
- 3位 プログラミング授業どう思う?

ポスター発表部門

- 1位 藻の食品化について
- 2位 全国各地の方言の違い
- 3位 天草の自然を生かしたリップクリーム作り



※熊本日々新聞2018年3月4日(日)14面に関連記事が掲載されました。

※天草市役所ホームページのトピックスで紹介されました。

※4月6日から13日まで、天草ケーブルテレビの「あまくさタイム2(Ch10)」で特別番組として放送されます。

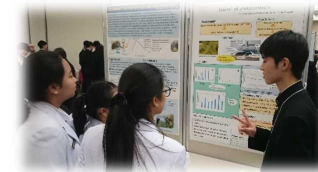
つくば Science Edge 2018 (in つくば国際会議場)

3/24(土)に、つくば国際会議場(茨城県つくば市)で「つくば ScienceEdge2018」が開催され、本校科学部5名が参加しました。

つくば ScienceEdgeは、中高生国際科学アイデアコンテストと位置づけられており、**日本を代表とする科学者が直接審査やアドバイスをされる新しいタイプのコンテスト**です。

午前中は事前審査を通過した代表8校によるオーラルプレゼンテーションを参観しました。物理、化学、生物、数学などの研究成果を学習することができました。また、中学生や海外の高校生の発表を聞くことができ、刺激を受けました。

午後からはポスターセッションがあり、有明海の海水準変動の研究班(地学部門)と、水草の光合成の研究(生物部門)が発表しました。**発表言語は英語です。**日本語部門もありましたが、国際的な研究活動を見据えて英語部門にエントリーしたそうです。海外の高校生などに英語を使って堂々と発表していました。最後には、タイの高校生(右上と中央の写真がタイの生徒とディスカッションをしている様子)と一緒に雑談をしたりしながら、打ち解け楽しんでいました。



東京大学大気海洋研究所における年代測定実習研修

3/25(日)に科学部5名が、千葉県柏市にある東京大学大気研究所で実習を行いました。この実習では、本校科学部がすすめる有明海の海水準変動を明らかにする研究の根拠となる年代測定の原理と手法を学びます。以前、SSH特別講演会で御講演いただいた横山祐典教授にお力添え頂き実現しました。当日は宮入陽介先生に以下の3つの作業を御指導いただきました。

- ① 貝殻の表面の不純物を取り除く作業
- ② 炭素を取り出す作業
- ③ 加速器を用いた測定の仕方

同位体を選別するために、様々な理論と理にかなった装置があることを教えていただき、科学の進歩が研究をさらに促進している(進化が進化を生む)ことを学ぶことができました。短時間の実習でしたが、1つ1つの作業を通して成長する生徒の姿がありました。



SSH指定を受け、1年間があっという間に過ぎました。様々な人と出会い、新たなカリキュラムの中で変化していく生徒の姿がそこにありました。次年度はAS IIや数科学探求、関西研修、自学力向上プロジェクト等が始まります。求めて学べば志は成る。将来役立つ力を身に付け、社会に出てからも伸び続ける天高生に今後も注目してください。